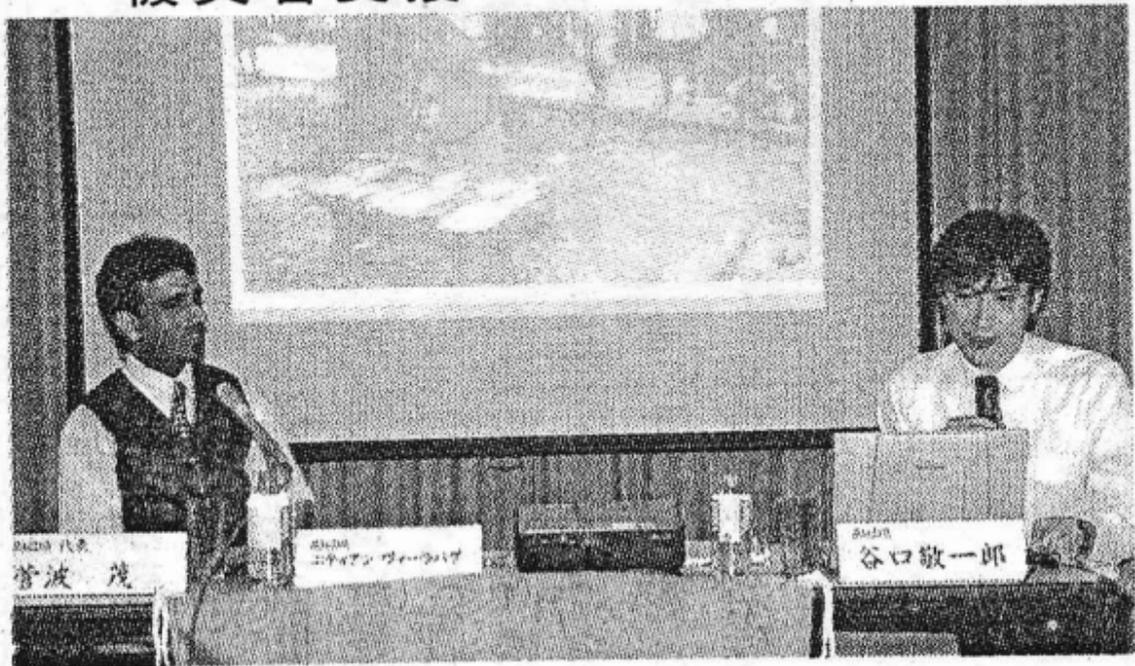


目立つマラリア、皮膚病

ソロモン地震
被災者支援 AMDA帰国報告



ソロモン諸島の被害状況を報告するヴィーラヴァグさん（左）

南太平洋・ソロモン諸島沖で起きた地震と津波の被災者支援に当たった国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市櫛津）のオーストラリア人調整員ニティアン・ヴィー

ーラヴァグさん（三八〇〇岡山市在住）が二十九日、AMDA本部で帰国会見し、被災地の状況や活動を報告した。

ソロモン諸島は四月二日、マグニチュード8.0の地震があり最大五メートルの津波が押し寄せた。死者は五十人以上という。ヴィーラヴァグさんは、AMDAインドネシア支部の医師や現地の看護師ら約十人とともに、孤立していたササムンガ村で診察計画の立案などに携わった。

現地は水がないため衛